

宮城県石巻市「移転元地の持続可能な管理・運営の実現に向けた官民連携による取組の推進」

目的・背景

持続可能な管理・運営を実現のため、官民連携による社会実験やマネジメント体制を構築し、管理・運営を担うプラットフォームの形成等の取組を推進

- 震災後、移転元地を含む地区の大部分が公園区域に指定、基本計画・実施設計が策定された後、令和4年度に官民連携による事業に向けた調査を実施。
- 令和5年度にプレイヤー候補となる有志と行政で土地活用ビジョンを策定し、令和6年度では、社会実験やマネジメント会議により事業化の方向性を共有。
- 今年度は情報発信や社会実験を継続しながら、管理・運営を担うプラットフォームの形成に向けた検討を行う。

取組とその効果

- マネジメント会議を開催し、先進事例を参考とした組織体制や事業スキームを検討。
- 生活情報誌「んだっチャ」や市HP、市SNS等による広報活動により、中瀬での取り組みの周知や市民を巻き込んだ社会実験やワークショップ等を開催。
- 各社会実験の継続的に実施により、事業化を見据えた具体的な取り組み内容や課題について明確化。

取組経過

- 5～8月 官民のメンバーによる全体マネジメント会議を開催し、今年度の取り組み内容とゴールについて確認。各社会実験の実施や新プロジェクト始動に向けた準備・調整。
- 9～11月 マネジメント会議を開催し管理・運営の方針をとりまとめるとともに、各種社会実験や情報発信、講演会、ワークショップを実施。
- 12～3月 マネジメント会議を開催し、プラットフォーム形成に向けた、管理・運営体制や事業スキームについてとりまとめる。

今後の方向性

- 社会実験を継続・充実させるとともに、ハンズオン支援事業終了後の自走を見据えた維持管理運営を担う組織体の設立・運用と官民連携のための事業スキーム（仕組み）づくり。
- 新規プロジェクト（拠点整備に向けた管理棟の基本計画策定、歴史等情報受発信のシステムの構築、地域連携商品開発）の継続的な取り組み

位置図



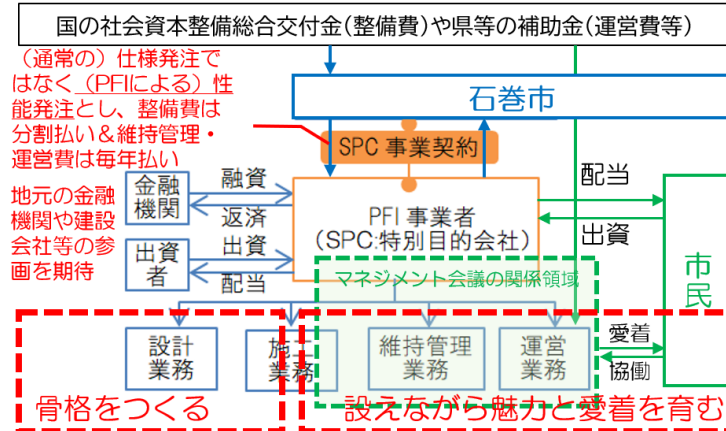
航空写真



取組の様子



取組成果



官民連携のための事業スキームのイメージ